

第4学年〇組 学級活動（1）指導案

日 時 平成〇年〇月〇日（〇）第〇校時

授業者 〇〇 〇〇

児童数 男子 15 人 女子 21 人 計 36 人

1 議題「学年で、エンジョイ&グッド会をしよう」

2 議題について

（1）児童の実態

本学級の児童は、素直に物事を受け止め、何事にも最後まで真面目に取り組んでいる。また、男女分け隔てなく、互いに協力して活動することを楽しんでいる。

4月から児童が互いに協力し合える雰囲気を生かし、学級会の進め方について指導した。学級会の議題を選定するために「提案ボックス」を設置し、学級がよりよくなるような提案ができるようにした。また、議題を計画委員が回収・分類し、話し合う必要があるかを教師と相談し決めた。学級会では、自分の意見や自分が支持した意見に決まらなくても、友達の見解と折り合いをつけ、学級全体として決定したことに同意し、実行していくことの大切さを指導してきた。

学級会を重ねる中で、意見を出し合うこと（話し合い）やみんなで決めていくこと（集団決定）を児童が楽しく感じるようになった。自分たちで提案したことが、学級で実践される楽しさや喜びを味わい、充実感につながっている。しかし、6月の意識調査からもわかるように、学級会で意見を言う児童が一部の子に限られていて、自分の意見を発言しようとする児童がいることは課題として捉えている。

そこで、児童が自信をもって発言し、話し合いに参加できるよう、学級会ノートを活用する。黒板に掲示するグッズを作成し、児童が安心して学級会に臨めるようにする。司会グループが円滑に進行できるよう台本を準備する。議題の内容についても、今まで児童が経験した役割や実行委員などを思い出させながら全体をつかませることで、積極的に意見が出るよう促していきたい。

< 4年〇組 学級会意識調査アンケート結果 36名（本年6月実施） >

質問内容	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1 学級会（話し合い活動）は好きですか？	21 (58%)	12 (33%)	3 (8%)	0 (0%)
2 話し合い（柱）にそって、自分の考えを持つことができますか？	12 (33%)	18 (50%)	6 (17%)	0 (0%)
3 学級会（話し合い活動）で、進んで発表できますか？	15 (42%)	10 (37%)	6 (17%)	5 (14%)
4 話し合ったあとに、クラスがよくなりましたか？	23 (64%)	11 (31%)	1 (3%)	1 (3%)

(2) 議題選定の理由

児童の実態のとおり、決定したことを実行して充実感を味わうだけでなく、達成感も味わっている。1学期末のお楽しみ会では、全員が積極的に企画や準備に取り組み、全員がまたやりたいと言うほど大きな充実感を得た。学級だけでなく学年レクも1学期末に行った。学年の担任から声をかけ、各学級の代表委員と相談しながら企画し、活動した。これまでの学年全体での実践が9月の運動会でのソーラン節の演技の一体感へとつながり、大成功を収めた。

4年生は、半年後には高学年の仲間入りをして、学校を支える児童会や委員会に関わる。1学期末の経験をもとに、この時期にも、学年全体で楽しむこと（エンジョイ）と互いに認め合うこと（グッド）を意識させ、学年がよくなると本校をもっとよくなり、6年生を安心させられることを意識させて協力できるよう本議題を設定した。

3 研究課題との関わり

(1) 西部地区学力向上のための授業研究会の研究課題

「主体的な学びを促し、思考力・判断力・表現力等を育む授業の在り方」

(2) 研究の視点

「内容（1）について話し合い活動充実のための方策」

(3) 重点と手立て

重点① 自他の考えの良さや違いを認めることができるようにする。

- ・意見の発表が活発になるように、事前に学級活動ノートの柱に対する意見・理由を書かせて学級会に臨むという経験を積ませていく。
- ・それぞれの意見のよいところを見つけて話し合えるように、事前に学級活動ノートに目を通して児童の考えを把握し、支援する。
- ・発表する時間をもたせることにより、がんばっていた友達を認め合い、相互評価ができるようにさせる。

重点② 学校生活の諸問題に気づき、仲間と協力して活動することができるようにする。

- ・クラスや学年・学校の現状に目を向けさせてから、議題提案カードを使って議題を募集できるようにしていく。
- ・提案理由を絵や写真などを交えて三段階（現状・手立て・見通し）で分かりやすく提示し、話し合う必要感を持たせ、共通理解して話し合えるようにする。
- ・一人一人が活躍できる役割分担ができるようにする。
- ・司会のめくり原稿で学級会の進め方を学び、繰り返し用いて誰もがつかむことができるようにする。
- ・合意形成の方法を掲示してそれらを活用し、多様な集団決定の仕方を積ませていく。
- ・活動を振り返らせ、よかったことを認める時間を持ち、お互いを認めることができるようにする。
- ・決定した事柄や先の予定を掲示するなど見通しをもって活動できるようにする。

重点③ 集団決定した事柄を、一人一人が実行できるようにする。

- ・話し合い活動で集団決定したことを、協力して活動させる。
- ・集団決定した事柄に対し、自分の役割を進んで行っている児童を称賛する。
- ・先の予定を担任と確認し、見通しをもって活動できるようにする。
- ・クラスのあゆみを掲示することで児童が活動を振り返り、集団決定した事柄を進んで行う意欲を高めさせる。

4 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団、社会の一員としての 思考・判断・実践	集団生活や生活についての 知識・理解
自分たちの学級や学校生活をよりよくするために、進んで話合いに参加して、意欲的に学年レクに取り組もうとしている。	学校生活や学級の向上を目指した議題を選び、その解決のために相手の立場に立った広い視野から方法を考え、協力して実践している。	学級の自発的・自治的な活動の必要性や集団で意見をまとめる際の計画委員会の役割や話合いの仕方を理解している。

5 事前の活動

月日 (曜日)	活動の場	活動の主体	活動の内容	・指導上の留意点 ◎目指す児童の姿
11 / 15 (水)	業間休み	計画委員	・議題案を選定する。	・投函された議題を内容別に分け、全てに目を通させる。 ◎よりよい学校生活づくりのために、進んで議題を選ぼうとしている。(関心・意欲・態度) 【提案カード・観察】
<p>提案された議題 学年で、エンジョイ&グッド会をしよう 提案した理由 (今～である) 運動会のソーラン節や〇〇先生退院おめでとう会を4年生全員でやりました。4年生は、まとまりのある仲の良い学年だと思います。 (そこで、～したい) 4年生全員で、2学期の最後に学年レクを開きたいです。 (そうすることで、～になる) 学級のまとまりも学年のまとまりもさらにできて、高学年になれると思います。6年生を送る会でも、このまとまりを見せて、6年生に安心してもらえると思います。</p>				
11 / 16 (木)	業間休み	代表委員	・クラスから出た意見を各クラスの代表委員に伝え、話を進めていくことを確認する。	・見通しが持てるよう助言する。
11 / 17 (金)	業間休み	計画委員	・話し合うこと(柱)や、時間配分を決め役割分担をする。	・話し合うことが時間内に終える計画を立てるよう助言する。

11/22 (水)	業間休み	計画委員 提案者	・学級会ノートを作成する。	・見通しをもって話し合いが進められるように助言する。 ・提案者とともに検討し思いや願いをクラス全体に伝える。
11/24 (金)	帰りの会	全員	・学級会の議題を確認し、学級会ノートに自分の考えを記入する。	・決まっていること(条件)を共通理解できるように、補足する。 ・提案理由に沿った意見が考えられるよう助言する。 ◎提案理由に沿った意見を具体的に持とうとしている。 (思考・判断・実践)【学級会ノート】
<p>議題「学年で、エンジョイ&グッド会をしよう」 話し合うこと① ○組は、何をするのか考えよう 話し合うこと② □組と◇組に良さを伝える方法を考えよう</p>				
11/27 (月)	業間休み	計画委員	・全員の学級会ノートに目を通す。 ・話し合いの準備(話し合いの展開の予想と進行の確認)をする。必要な道具を準備する。	・意見の記入が十分でない児童には、提案理由を踏まえて書けるように助言する。
11/30 (木)	朝の会	全員	・教師の助言が書かれた学級会ノートを受け取る。	・事前に学級会ノートに励ましの言葉等を記入し、話し合い活動への意欲を高める。

6 本時のねらい

○学年の誰もが楽しめるレクになるよう考えることができるようにする。

7 展開

第15回学級活動 活動計画 平成〇〇年〇〇月〇〇日(〇) 第〇校時	
議題	学年で、エンジョイ&グッド会をしよう
役割分担	司会() 副司会() 黒板() ノート()
提案理由	「今～である」 運動会のソーラン節や〇〇先生の退院おめでとうの会を行った。4年生はまとまりのある仲のよい学年だと思っている。 「そこで、～したい」 そこで4年生全員で「エンジョイ&グッド会」を開きたい。 「そうすることで、～になる」 そうすることで学級のまとまりも学年のまとまりもさらにできて、高学年に近づけると思う。
決まっていること	① 12月21日(木) 2時間目に行く ② 場所は体育館 ③ 学年全員で行う ④ 各学級2グループ 1グループ4分以内

⑤ 司会者は代表委員が行う		
話合いの順序	気を付けること	資料・時間
1 はじめの言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声ではっきりと言う。 ・自分のめあてを言って、自己紹介する。 ・大きな声で言う。 ・黒板にカードを貼って忘れないようにする。 ・決まっていることに気を付けて話し合ってもらおう。 ・前の学級会のことを思い出して、話し合ってもらおう。 	1～5
2 司会グループの紹介		8分
3 議題の確認		6
4 提案理由の説明		
5 決まっていることの確認		
6 話合い		
話し合うこと① 3組は何をするか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート記録係がはっきり伝える。 ・自分や友だちのことを振り返れるようにする。 	30分
話し合うこと② 1組と2組に良さを伝える方法を考えよう		
7 決まったことの発表	7	
8 学級会ノートへの記入	2分	
9 振り返り発表	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかり聞く。 	8～11
10 先生の話		5分
11 おわりの言葉		

8 指導上の留意点

話合いの順序	・指導上の留意点 ◎目指す児童の姿と評価方法
1 はじめの言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい雰囲気話し合えるよう、笑顔で見守る。 ・計画委員は、司会1名、副司会1名、黒板記録1名、ノート記録1名は、前に出て活動する。 ・児童はコの字型に机を並べ、互いの顔を見て話し合えるようにする。
2 計画委員の紹介	
3 議題の確認	
4 提案者の紹介と提案理由の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者の思いや願いを受け止め、学級全員の問題であることがわかるようにする。
5 話合いのめあての確認	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてをしっかりと自覚できるようにする。話合いの前に必要があれば教師が補足説明する。
6 決まっていることの確認	<ul style="list-style-type: none"> ・決まっていることをしっかり確認する。全員が共通理解できるように、司会者がはっきり発表できるようにする。
7 話合い	<ul style="list-style-type: none"> ・意見は、短冊に書いて掲示し、時間の短縮をする。 ・司会が困っているとき、話の方向がそれたり、よりよい話し合いの方法を学ばせたりしたいときは、積極的に助言し、話合いの進め方や司会の進め方を共通理解できるようにする。 ・意見を言うときは、理由を含めてしっかり言えるように指導する。 ・友達の見解をよく聞いて、お互いの見解を尊重しながら自分の意見が言えるよう指導する。 ・「くらべる・まとめる」段階では、質問→比較→検討と進められるよ
① ○組は、何を考えるのか考えよう	
② ○組と○組に良さを伝える方法を考えよう	

	<p>うにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まとめる」段階では、反対していた児童への確認や提案者の気持ちなどを考慮して決定できるように指導する。 ・常に提案理由やめあてに沿って話し合いが進められるように指導する。 ・安易に多数決を採らず、少数意見にも発言の機会を与えるよう助言する。 <p>◎話し合いに積極的に参加し、意見を言おうとしている。 (関心・意欲・態度)【観察・学級会ノート】</p> <p>◎提案理由やめあてを意識して、自分の意見を考え発言している。 (思考・判断・実践)【観察・学級会ノート】</p> <p>◎話し合いの仕方や、よりよい解決方法が分かる。 (知識・理解)【学級会ノート・観察・計画委員会活動計画】</p>
8 決まったことの発表	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート記録がはっきりと決まったことを言えるように支援する。
9 話し合いの振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や友達のよさについて本時を振り返って感想が書けるように助言する。
10 教師の話	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員や提案者を労い、意欲的に発言できた児童、めあてや提案理由に沿った発言ができた児童、全体を考えてまとめる意見を出せた児童を称賛する。また、今後の話し合いの進め方の課題と実践への意欲付けをする。
11 終わりの言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員の活動を称賛するとともに、次回の学級会の課題と今後の活動に向けての見通しを確認する。 ・時間内に決まらなかったものがあつた場合は、どうするか確認する(翌日の朝の会などに行う)。

9 事後の活動

児童の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・指導上の留意点 ◎目指す児童の姿
12/1日(金)～12/4(月) <ul style="list-style-type: none"> ・決まったことを学級会コーナーに掲示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会で決まったことの要点をまとめて書けるように計画委員を支援する。 ・決まったことを守って、活動できるように支援する。
12/5(火)～12/15(金) <ul style="list-style-type: none"> ・代表委員会を開き、各クラスで決まった考えを出し合い、重なりを調整し内容を決定する。 ・各クラスに決まったことを連絡する。 ・実行委員を各クラスで編成し、準備を始める。(途中経過を報告しあえるようにする。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体や個人の取り組みを振り返り、お互いの良さを認め、今後に生かせるようにしていく。 ・自信をもって活動ができるよう支援をする。
12/21日(木) <ul style="list-style-type: none"> ・「エンジョイ&グッド会」当日。 ・振り返りシート(感想)の記入 	◎準備や伝える会に進んで取り組もうとしている。(関心・意欲・態度)【観察】 ◎集会の目的を考え、友達と協力し責任をもって準備したり、参加したりしている。(思考・判断・実践)【観察・振り返りカード】

第十五回 学級会

議題 学年でエンジョイ&グッド会をしよう

提案理由

決まってること

- ① 12月21日（木） 2時間目に行う
- ② 場所は体育館
- ③ 学年全員で行う
- ④ 各学級2グループ 1グループ4分以内
- ⑤ 司会者は代表委員が行う

運動会のソーラン節や川島先生の退院おめでとうの会を行った。4年生はまとまりのある仲のよい学年だと思っている。

↓

そこで4年生全員で「エンジョイ&グッド会」を開きたい。

↓

そうすることで学級のまとまりも学年のまとまりもさらにできて、高学年に近づけると思う。

柱1 ○組は何をするのか考えよう。

- ・ドロケイ
- ・オニゴッコ

柱2 ○組と○組に良さを伝える方法を考えよう

- ・メダルをわたす
- ・賞状をわたす
- ・言葉を伝える